

1. 防災教育の動向と研究の概要

【防災教育における動向】

日本は、地震、津波、暴風、竜巻、豪雨、地滑り、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、火山噴火、豪雪など極めて多種の自然災害が発生しやすい自然条件下に位置するため、防災対策の一層の充実強化が求められています(内閣府,2025)。文部科学省(2013)は「『生きる力』を育む防災教育の展開」において、地域の特色を理解した学校防災の取組の必要性を明示しています。

【研究の概要】

防災教育におけるこどもの防災意識の変容とセルフ・エスティームの関連

(西九州大学倫理審査 承認番号25ANE12)

本研究は、こどもが防災教育で得た知識を保護者へフィードバックすることによる防災意識の変容と、セルフ・エスティームの関連を考察し、こどもと家庭の福祉や健康の向上への支援を考えることを目的とし、3年間の研究活動を予定しています。令和7年度は参加型防災教育として、防災講座と防災グッズの作成を行い、小学生・中学生へのアンケート調査と、保護者へのQRコードを用いたアンケート調査を行いました。本研究の結果は、学会にて学会発表・論文投稿を予定しています。

参加型防災教育



2. 活動紹介

【振興助成】 公益財団法人 大電教育振興会

◆参加型防災教育◆ ～佐賀県・神崎市で起きた災害と防災グッズの作成～

【防災講座】—授業のめあて—

- 災害について学ぼう
身近で起きた災害について知ろう
災害や防災について学び、「自分のこと」として考えよう
- 防災グッズをつくらう
自分の家にある防災グッズや災害の備えについて気づこう
ペットボトルランタンづくりを通して、防災グッズについて理解を深めよう
- 今日の学びを伝えよう
自分でできる防災について考えよう
今日学んだことを家族や地域の方へ伝えてみよう



【ペットボトルランタンの作成】



【ご協力いただいた小学校・中学校、実施期間】

- 小学校 2校
神崎市立脊振小学校 1年生から6年生 16名
神崎市立仁比山小学校 4年生 38名
- 中学校 1校
神崎市立千代田中学校 1年生から3年生 194名
- 実施期間：2025年12月実施

3. 活動の様子

○神崎市立脊振小学校



○神崎市立千代田中学校



○神崎市立仁比山小学校



【活動協力】 被災地支援チームOKBASE